

日 時 平成24年3月1日(木) 午前10時 開 会

出席議員 (16人)

1番 中田博文	2番 工藤和行
3番 黒石ナナ子	4番 今井敬
5番 工藤禎子	6番 佐々木隆
7番 後藤秀憲	8番 大久保朝泰
9番 大溝雅昭	10番 工藤俊広
11番 工藤和子	12番 山田鋳一
13番 福士幸雄	14番 北山一衛
15番 村上啓二	16番 村上隆昭

欠席議員 (なし)

出席要求による出席者職氏名

市 長 鳴海広道	副 市 長 玉田 芙佐男
総務部長兼 選挙管理委員会事務局長 鳴海勝文	企画財政部長 成田耕作
健康福祉部長 兼福祉事務所長 村元英美	農林商工部長兼 バイオ技術センター所長 兼農業委員会事務局長 永田幸男
建設部長 三浦裕寛	総務課長兼検査指導監 兼震災支援対策室長 小山内隆文
人事課長 沖野恵美子	財政課長 工藤伸太郎
国保年金課長 五十嵐茂幸	福祉総務課長 鎌田幸男
農林課長兼 バイオ技術センター次長 工藤秀雄	建設課長 村元 茂
農業委員会会長 佐山秀夫	選挙管理委員会 委員長 乗田兼雄
監査委員 廣瀬左喜男	教育委員会 委員長 篠村正雄
教育長 横山重三	教育部長 久保正彦
黒石病院 事業管理者 柿崎武光	黒石病院 事務局長 沖野俊一

会議に付した事件の題目及び議事日程

平成24年第1回黒石市議会定例会議事日程 第1号

平成24年3月1日(木) 午前10時 開 議

第1 会議録署名議員の指名

- 第 2 会期の決定
- 第 3 報告第 3 号 平成 23 年度黒石市一般会計補正予算（第 11 号）について
- 第 4 報告第 4 号 権利の放棄について
- 第 5 報告第 5 号 権利の放棄について
- 第 6 報告第 6 号 権利の放棄について
- 第 7 議案第 3 号 黒石市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第 8 議案第 4 号 黒石市特別職の職員の給料等に関する条例等の一部を改正する条例制定について
- 第 9 議案第 5 号 黒石市一般職職員の給与の特例に関する条例等の一部を改正する条例制定について
- 第 10 議案第 6 号 黒石市税条例の一部を改正する条例制定について
- 第 11 議案第 7 号 黒石市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例制定について
- 第 12 議案第 8 号 黒石市介護保険条例の一部を改正する条例制定について
- 第 13 議案第 9 号 黒石市職業能力開発校条例を廃止する条例制定について
- 第 14 議案第 10 号 黒石市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第 15 議案第 11 号 黒石市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第 16 議案第 12 号 黒石市国民健康保険黒石病院事業の設置及び経営の基本に関する条例の一部を改正する条例制定について
- 第 17 議案第 13 号 青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について
- 第 18 議案第 14 号 権利の放棄について
- 第 19 議案第 15 号 権利の放棄について
- 第 20 議案第 16 号 市道の路線廃止について
- 第 21 議案第 17 号 市道の路線認定について
- 第 22 議案第 18 号 固定資産評価審査委員会委員の選任について
- 第 23 議案第 19 号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
- 第 24 議案第 20 号 平成 23 年度黒石市一般会計補正予算（第 12 号）
- 第 25 議案第 21 号 平成 23 年度黒石市国民健康保険特別会計補正予算（第 2 号）
- 第 26 議案第 22 号 平成 23 年度黒石市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）

- 第27 議案第23号 平成23年度黒石市介護保険特別会計補正予算（第2号）
第28 議案第24号 平成24年度黒石市一般会計予算
第29 議案第25号 平成24年度黒石市国民健康保険特別会計予算
第30 議案第26号 平成24年度黒石市後期高齢者医療特別会計予算
第31 議案第27号 平成24年度黒石市姥懐霊園墓地特別会計予算
第32 議案第28号 平成24年度黒石市介護保険特別会計予算
第33 議案第29号 平成24年度黒石市観光施設事業特別会計予算
第34 議案第30号 平成24年度黒石市簡易水道特別会計予算
第35 議案第31号 平成24年度黒石市温泉供給事業特別会計予算
第36 議案第32号 平成24年度黒石市農業集落排水事業特別会計予算
第37 議案第33号 平成24年度黒石市土地取得特別会計予算
第38 議案第34号 平成24年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計予算
第39 議案第35号 平成24年度黒石市水道事業会計予算
第40 議案第36号 平成24年度黒石市下水道事業会計予算
第41 議案第37号 平成24年度黒石市中川財産区会計予算
第42 議案第38号 平成24年度黒石市上十川財産区会計予算
第43 議案第39号 平成24年度黒石市追子野木財産区会計予算
第44 議案第40号 平成24年度黒石市温湯財産区会計予算
第45 議案第41号 平成24年度黒石市袋財産区会計予算

市長提案理由説明

- 第46 予算特別委員会設置について

出席した事務局職員職氏名

事務局長	境 裕 康
次 長	三 上 亮 介
次長補佐兼議事係長	太 田 誠
議事係主査	今 正 樹

会議の顛末

午前10時02分 開 会

- ◎議長（中田博文） ただいまから、平成24年第1回黒石市議会定例会を開会いたします。
直ちに本日の会議を開きます。
本日の議事は、議事日程第1号をもって進めます。

◎議長（中田博文） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第80条の規定により、議長において3番黒石ナナ子議員、12番山田鉦一議員を指名いたします。

◎議長（中田博文） 日程第2 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今期定例会の会期は、本日から3月15日までの15日間といたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（中田博文） 御異議なしと認めます。

よって、会期は15日間と決定いたしました。

◎議長（中田博文） この際、諸般の報告をいたします。

まず、議長、事務局長において、平成23年度青森県市議会議長会第3回定期総会に出席いたしましたので、別紙のとおり御報告いたします。

次に、監査委員から、例月出納検査報告及び定期監査報告が提出されました。よって、その写しをお手元に配付しておきましたので、御了承願います。

◎議長（中田博文） 日程第3 報告第3号から、日程第45 議案第41号まで、合わせて43件を一括上程いたします。

この際、理事者から提案理由の説明を求めます。市長。

登壇

◎市長（鳴海広道） 提案理由の説明の前に、議長のお許しを得まして、一言申し上げたいと思っております。

昨年3月11日に発生し、姉妹都市である宮古市を初め、多くの地域に甚大な被害をもたらした東日本大震災が、まもなく1年となります。この震災により不幸にもとうとい命を失われた方々の御冥福をお祈りするとともに、御遺族の方々に対して深く哀悼の意を表します。

また、被災された方々には心からお見舞いを申し上げ、被災地の一日でも早い復興を願うものであります。当市においても、今冬は平成16年・17年度以来の豪雪となり、黒石市豪雪警戒対策本部を設置し対応していますが、残念なことに除雪作業中の事故で既に2人の方がお亡くなりになっております。心から御冥福をお祈りするとともに、除雪作業中にけがをされた方に対しても、心からお見舞いを申し上げます。

また、倉庫や農業用のハウスの損壊、りんごの枝折れなどの被害も報告されており、今後も関係各位におかれましては、所有物件や樹園地の見回りなど適性な管理をし、被害を未然に防止することを努めていきたいと考えております。

さて、平成24年第1回定例会の開会に当たり、市政運営の基本方針並びに所信の一端を申し述べさせていただきますとともに、平成24年度当初予算案など提出議案43件の概要について、順次御説明申し上げ、審議の参考に供したいと存じます。

私は、市長就任以来、一貫して「財政再建」を最重要課題として、誠心誠意、全力で職務を全うしてまいりました。

その結果、一般会計は平成20年度から22年度まで、3年連続で黒字決算となったほか、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律(財政健全化法)」に係る4指標の判断基準もクリアできましたことは、これまでの施策に間違いはなかったものと考えております。

また、懸案事項である財政健全化法上の下水道事業や、公立病院改革プランにおける黒石病院の経営健全化については、計画どおり推移しており、平成24年度末のすべての会計の起債残高合計が約313億円となり、平成11年度と対比すると約140億円の減額になる見込みであります。

これも皆様方の御理解のたまものと、感謝申し上げます次第であります。

しかしながら、今後、地方財政法上の資金不足を抱える企業会計や累積赤字を抱える特別会計への支援の継続、高どまりにある実質公債費比率の抑制など解決すべき課題も多く、平成20年11月に策定した「行財政運営方針」に基づき、改革の努力を緩めることなく、財政健全化の取り組みを着実に進めてまいる所存であります。

さて、我が国の経済状況であります。昨年12月の日銀短観によりますと、大企業の景況感をあらわす「業況判断指数」は、製造業・非製造業とも2四半期ぶりに6ポイント悪化し、マイナス4ポイントとなりました。

東日本大震災の落ち込みからはやや回復しつつあるものの、タイの洪水による生産活動の減少や、円高の定着化、さらに欧州債務問題の深刻化が大きく響いている感があります。

また、中東の政情不安による原油価格の高騰、TPPへの参加方針の表明等により、国政の混迷度合いが強まっております。

国の平成24年度地方財政計画では、「地方交付税の原資となる国税収入の微増が見られる中、地域主権改革に沿った財源の充実を図るため、地方公共団体の安定的な財政運営に必要な一般財源の総額を、平成23年度と実質的に同水準になるよう確保した」としております。

平成24年度の予算編成に当たりましては、第5次黒石市総合計画の実現を目指しながらも、「すべての会計の財政健全化」、「自主財源の確保」、「将来負担の軽減」という「行財政運

営方針」を堅持いたしました。

その結果、平成24年度の一般会計当初予算案は、予算総額150億2,600万円、対前年比1億6,800万円減、1.1%減の予算規模となりました。これは歳入不足を補うため、財政調整基金3億3,000万円を取り崩しての緊縮予算であります。

また、一般会計と企業会計、特別会計の合計額は306億3,468万1,000円で、対前年比5億921万4,000円減、1.6%減の予算規模となりました。

次に、新年度の重点施策であります。新規事業につきましては、「第5次黒石市総合計画」基本構想にある「まちづくりの目標」の項目ごとに御説明申し上げます。

まず、「健やかに暮らせるまち」では、後期高齢者医療被保険者に温泉施設利用券を申請により交付する「黒石市高齢者健康増進温泉施設利用券交付事業」、南黒医師会や黒石病院医師の協力を得て、毎月、第1・第3・第5土曜日に一次救急の患者を黒石病院で受け入れる「黒石市一次救急診療実施事業」、乳児健診時に絵本の読み聞かせ等をする「ブックスタート事業」を実施するものであります。

次に、「活力にあふれるまち」では、農業者の生産意欲向上を図るため「農業機械導入助成事業」のほか、もみじのムービングライトアップやかがり火により中野もみじ山の魅力度アップを図る「小嵐山黒石温泉郷誘客拡大事業」、平川市、田舎館村と共同で新青森駅から津軽南エリアへのシャトルバス運行事業への助成を行う「新青森駅・津軽南地域間二次交通調査事業」を実施したいと考えております。

「心豊かな人を育てるまち」では、災害時の拠点としての観点から、学校を含む教育施設のトイレを洋式化する「黒石市教育施設トイレ改修事業」のほか、学校を含む教育施設に非常用発電機等を購入する「教育施設災害非常時対応発電機等購入事業」、小・中学校の授業支援・交通安全指導等を行う「学校支援員配置事業」、弘前圏域定住自立圏構想における学校給食の充実に向け、施設整備に係る設計を委託する「学校給食実施事業」、レクリエーションスポーツの紹介や市内ウォーキングにより体力向上を図る「黒石レクリエーションスポーツ祭実施事業」を実施したいと考えております。

「安全で快適なまち」では、都市計画道路「3・4・7黒石環状線」を整備するため、調査設計を実施したいと考えております。

次に、継続事業であります。少子化対策としての「小学校新入学児童支援事業」や「第3子以降3歳未満児童の保育料無料化」のほか、「子宮がん・乳がん検診促進事業」、「くろいし共通プレミアム商品券発行事業補助」、「こけし灯ろう助成事業」、「地域・家庭教育向上事業」、「公民館耐震化工事実施事業」、「旧松の湯保存修理事業」などがあります。

次に、黒石市民文化会館の一部再開について触れておきたいと思っております。

全面再開、一部再開、財源など、多方面にわたり検討した結果、平成26年度に多目的ホールや図書室を含む黒石公民館部分を再開する方向で、平成24年度は改修実施設計を行い、平成25年度に改修工事に着手することにいたしました。

実質公債費比率を抑制するため、市民及び議員各位の御協力により、平成22年度に1億6,000万円、平成23年度に約2億円の任意繰上償還を実施した結果、一部再開のための改修工事費用約4億円の財源確保が可能と判断し、市民からの要望の多い本事業を実施することを決断いたしました。

しかし、再開後、多額の維持管理費も必要となり、財源確保のため、より厳しい財政運営が求められることとなりますので、今後とも、皆様方に御協力をお願いするとともに、平成24年度も任意の繰上償還を実施することにより、実質公債費比率の更なる抑制に努めたいと思っております。

それでは、各議案の説明に入りたいと思います。

まず、報告第3号は、処分第3号「平成23年度黒石市一般会計補正予算（第11号）について」であります。歳入歳出それぞれ6,780万円を追加し、予算の総額を162億4,251万円にしたものでございます。

歳出は、6款 農林水産業費で樹園地農道除雪事業に係る委託料及び黒石市農用地融雪促進事業費補助金として合わせて780万円を計上し、8款 土木費で除雪対策費に6,000万円を追加したものでございます。

歳入は、17款 繰入金に財政調整基金繰入金6,780万円を計上いたしました。

次に、報告第4号から報告第6号までの「権利の放棄について」は、黒石市債権管理条例第13条第1項の規定に基づき、姥懐霊園墓地管理料1件、簡易水道料金2件、水道料金107件の私債権を放棄したので、同条第2項の規定により報告するものでございます。

議案第3号「黒石市附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例制定について」は、黒石市旧農林総合研究センター等利活用検討委員会の設置等に伴い、所要の改正をしようとするものであります。

議案第4号「黒石市特別職の職員の給料等に関する条例等の一部を改正する条例制定について」は、厳しい財政事情が続くものと判断し、市長、副市長、識見を有する者の中から選任された監査委員、教育長及び病院事業管理者の給料月額並びに非常勤職員の報酬月額を引き続き30%から10%を減額することについて、所要の改正をしようとするものであります。

議案第5号の「黒石市一般職職員の給与の特例に関する条例等の一部を改正する条例制定について」は、一般職職員の給料月額を減額して支給するための減額率及び特例期間を改定するため、所要の改正をしようとするものであります。

議案第6号「黒石市税条例の一部を改正する条例制定について」は、地方税法及び地方自治法の一部改正に伴い、所要の改正をしようとするものであります。

議案第7号「黒石市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例制定について」は、国土調査成果(合筆)により、現在の位置地番が閉鎖されたことから、福祉事務所の位置を広く市民に知られている市役所の位置地番に置こうとするものであります。

議案第8号「黒石市介護保険条例の一部を改正する条例制定について」は、黒石市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の見直しに伴い、所要の改正をしようとするものであります。

議案第9号は、「黒石市職業能力開発校条例を廃止する条例制定について」であります。黒石市職業能力開発校の指定管理者である職業訓練法人黒石職業訓練協会の解散等に伴い、廃止しようとするものでございます。

次に、議案第10号「黒石市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について」、議案第11号「黒石市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について」、議案第12号「黒石市国民健康保険黒石病院事業の設置及び経営の基本に関する条例の一部を改正する条例制定について」の3議案は、いずれも地方公営企業法の一部改正に伴い、所要の改正をしようとするものであります。

議案第13号は、「青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合同約の変更について」であります。構成団体である公立金木病院組合が平成24年3月31日をもって解散することにより、青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合同約の変更について、関係地方公共団体と協議する必要が生じたので、地方自治法第286条第1項及び同法第290条の規定に基づき、議会の議決を要するものであります。

議案第14号及び議案第15号は、「権利の放棄について」であります。地方自治法第96条第1項第10号の規定により、権利の放棄について議決を求めるため、提案するものでございます。

議案第16号は、「市道の路線廃止について」であります。浅瀬石33号線を廃止するため、道路法第10条第3項の規定により提案するものでございます。

議案第17号は、「市道の路線認定について」であります。新たに境松一丁目5号線ほか12路線を市道の路線として認定するため、道路法第8条第2項の規定により提案するものでございます。

議案第18号は、「固定資産評価審査委員会委員の選任について」であります。地方税法第423条第3項の規定により、黒石市固定資産評価委員会委員の選任について同意を得るため、提案するものでございます。

議案第19号は、「人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて」であります。人権擁護委員法第6条第3項の規定により、人権擁護委員を推薦しようとするものでございます。

次に、議案第20号は、「平成23年度黒石市一般会計補正予算（第12号）」であります。歳入歳出それぞれ1,051万7,000円を減額し、予算の総額を162億3,199万3,000円にしようとするものでございます。

まず、歳出の主なものは、2款 総務費で減債基金積立金3,917万5,000円、3款 民生費で国民健康保険特別会計繰出金1,291万9,000円、子ども手当費1億1,249万円の減額、生活保護費医療扶助費3,004万4,000円を追加するものでございます。4款 衛生費では子宮頸がんワクチン等接種委託料1,076万2,000円の減額、8款 土木費で土地開発公社健全化対策として土地購入費2,066万円、12款 公債費では長期債元金の借りかえのため1億1,480万円を計上するものでございます。

歳入の主なものは、13款 国庫支出金で子ども手当費負担金1億197万3,000円、14款 県支出金で保健衛生費補助金1,369万8,000円の減額、20款 市債では借換債を含め1億1,620万円を追加するものでございます。

議案第21号は、「平成23年度黒石市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）」であります。歳入歳出それぞれ1,286万4,000円を減額し、予算の総額を48億6,713万5,000円にしようとするもので、国民健康保険基盤安定負担金の確定に伴う補正でございます。

議案第21号は、「平成23年度黒石市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）」であります。歳入歳出それぞれ1,286万4,000円を減額し、予算の総額を48億6,713万5,000円にしようとするもので、国民健康保険基盤安定負担金の確定に伴う補正でございます。

議案第22号は、「平成23年度黒石市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）」であります。

歳入歳出それぞれ366万2,000円を減額し、予算の総額を2億9,369万4,000円にしようとするもので、後期高齢者医療保険基盤安定負担金の確定に伴う補正でございます。

議案第23号は、「平成23年度黒石市介護保険特別会計補正予算（第2号）」であります。歳入歳出それぞれ63万3,000円を追加し、予算の総額を29億3,659万5,000円にしようとするもので、人件費の増額に伴う補正でございます。

次に、議案第24号は、「平成24年度黒石市一般会計予算」であります。

先に申し上げましたように、平成24年度一般会計予算案は、歳入歳出とも150億2,600万円であります。

まず、歳出から御説明いたします。

1款 議会費は、1億7,977万1,000円ですが、議員報酬等の人件費のほか議員共済年金に係る共済会給付費負担金3,870万8,000円が主なものでございます。

2款 総務費は、14億260万7,000円ですが、総務管理費10億3,449万5,000円、徴税費2億4,527万2,000円のほか、戸籍住民基本台帳費等であります。

3款 民生費は、57億1,708万円ですが、障害者福祉費、老人福祉費などの社会福祉費が23億8,217万円、児童措置費などの児童福祉費が22億7,204万円、生活保護費10億6,287万円でございます。

4款 衛生費は、12億7,237万5,000円ですが、予防費4,869万4,000円、生活習慣病予防対策費6,605万1,000円、病院費4億8,954万円、黒石地区清掃施設組合負担金などの清掃費が4億1,041万8,000円です。

5款 労働費は、3,402万5,000円ですが、主なものは、実務研修型雇用対策事業委託料2,432万2,000円、黒石市シルバー人材センター補助金920万4,000円などです。

6款 農林水産業費は、3億6,331万5,000円ですが、農業振興費1,566万4,000円、農地費2,916万8,000円、米生産対策費2,759万6,000円、中山間地域農村活性化総合整備事業費5,396万円などが主なものであります。

7款 商工費は、5億2,946万5,000円ですが、主なものは、黒石市特別保証制度貸付金1億円、商工組合中央金庫貸付金3,000万円、観光施設事業特別会計繰出金が7,630万3,000円、温泉供給事業特別会計繰出金1,927万3,000円などです。

8款 土木費は、12億7,115万3,000円ですが、道路維持費1億2,611万4,000円、道路整備事業費2,020万2,000円、除雪対策費1億7,956万7,000円、雪寒地域道路事業費5,220万円、公園管理費7,547万3,000円、下水道費6億5,770万4,000円、住宅費3,699万3,000円などです。

9款 消防費は、8億4,136万3,000円ですが、黒石市消防団事務委託料及び、黒石地区消防事務組合負担金などのほか、被災地支援対策費として1,109万9,000円を計上したものでございます。

10款 教育費は、11億1,701万6,000円ですが、教育委員会事務局費及

び指導費を中心とした教育総務費1億9,045万2,000円、小・中学校費4億8,906万3,000円、社会教育費3億97万9,000円のほか、幼稚園費、保健体育費などを計上いたしました。

11款は、災害復旧費であります。

12款 公債費は、各種起債などの償還費用として、22億7,434万円を計上いたしました。

13款は、予備費であります。

歳入については、市税29億359万1,000円、地方交付税64億6,000万円、国庫並びに県支出金合わせて33億488万2,000円、市債8億580万円のほか、地方消費税交付金を初めとする各種交付金を計上いたしました。

次に、議案第25号は、「平成24年度黒石市国民健康保険特別会計予算」で、歳入歳出とも総額は、47億1,095万1,000円であります。

議案第26号は、「平成24年度黒石市後期高齢者医療特別会計予算」で、歳入歳出とも総額は、2億9,143万7,000円でございます。

議案第27号は、「平成24年度黒石市姥懐霊園墓地特別会計予算」で歳入歳出とも総額は、1,137万5,000円であります。

議案第28号は、「平成24年度黒石市介護保険特別会計予算」で、歳入歳出とも総額は、28億7,582万8,000円でございます。

議案第29号は、「平成24年度黒石市観光施設事業特別会計予算」で、歳入歳出とも総額は、7,900万1,000円であります。

議案第30号は、「平成24年度黒石市簡易水道特別会計予算」で、歳入歳出とも総額は、2,404万2,000円でございます。

議案第31号は、「平成24年度黒石市温泉供給事業特別会計予算」で、歳入歳出とも総額は、3,378万8,000円であります。

議案第32号は、「平成24年度黒石市農業集落排水事業特別会計予算」で、歳入歳出とも総額は、2,015万7,000円でございます。

議案第33号は、「平成24年度黒石市土地取得特別会計予算」で、歳入歳出とも総額は、8,167万2,000円ありますが、旧アクアリゾートパーク整備予定地の一部を土地開発公社から再取得するほか、公共用地先行取得等事業債の利子分を計上したものでございます。

次に、議案第34号は、「平成24年度黒石市国民健康保険黒石病院事業会計予算」であります。

まず、収益的収入及び支出では、支出予定額が46億1,564万8,000円、収入予定

額は47億6,233万7,000円となっております。

資本的収入及び支出では、支出予定額が5億5,216万5,000円、収入予定額は4億936万5,000円となっており、支出に対する不足額1億4,280万円は、当年度分損益勘定留保資金で補てんすることとしております。

議案第35号は、「平成24年度黒石市水道事業会計予算」であります。

まず、収益的収入及び支出では、支出予定額が7億5,662万4,000円、収入予定額は8億2,118万9,000円となっております。

資本的収入及び支出では、支出予定額に2億7,191万7,000円、収入予定額は2,250万円となっており、支出に対する不足額2億4,941万7,000円については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額323万8,000円、過年度分損益勘定留保資金2億4,617万9,000円で補てんすることとしております。

議案第36号は、「平成24年度黒石市下水道事業会計予算」であります。

収益的収入及び支出では、支出予定額が6億1,426万9,000円、収入予定額は6億7,132万2,000円となっております。

資本的収入及び支出では、収入支出とも6億6,980万7,000円でございます。

次の議案第37号から議案第41号までは、平成24年度の各財産区会計の予算であります。議案の順に歳入歳出予算の総額を申し上げますと、中川財産区が7万6,000円、上十川財産区736万1,000円、追子野木財産区159万3,000円、温湯財産区2,065万1,000円、袋財産区が7万8,000円でございます。

以上、平成24年度を迎えるに当たっての所信の一端と、議案の内容を簡単に申し上げましたが、会期中には、「青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の増減及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更について」を追加提案する予定でありますので、ただいま申し上げました議案とあわせて、御審議の上、御賛同賜りますようお願い申し上げます。以上であります。

降壇

◎議長（中田博文） お諮りいたします。

ただいま上程いたしました案件については、議事の都合により、後刻審議いたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（中田博文） 御異議なしと認めます。

よって、これらの案件については後刻審議することに決しました。

◎議長（中田博文） 日程第46 予算特別委員会設置についてを議題といたします。

お諮りいたします。

先ほど上程いたしました案件のうち、平成24年度各会計予算については、議員全員をもって構成する予算特別委員会を設置し、これに付託の上、審議いたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（中田博文） 御異議なしと認めます。

よって、平成24年度各会計予算については、議員全員をもって構成する予算特別委員会を設置し、これに付託の上、審議することに決しました。

なお、予算特別委員会は本会議終了後、引き続きこの場所において開きますので、よろしくお願いたします。

◎議長（中田博文） この際、お諮りいたします。

議案調査、委員会審査等のため、3月2・3・4・5・6・8・10・11・12・13・14日の11日間、休会いたしたいと思っております。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

◎議長（中田博文） 御異議なしと認めます。

よって、11日間に休会することに決しました。

◎議長（中田博文） 本日はこれにて散会いたします。

午前10時43分 散 会

地方自治法第123条第2項の規定により、ここに署名する。

平成24年3月1日

黒石市議会議長 中 田 博 文

黒石市議会議員 黒 石 ナナ子

黒石市議会議員 山 田 鉦 一